



議会だより 第17号

平成22年2月発行

謹んで初春の

お慶びを申し上げます

本年も皆様方にとりまして、幸多き年となり
ますようお願い申し上げます、ご挨拶と
いたします。

みやこ町議会議員一同

どんど



もくじ

- * 合併して早や3年!! (20年度決算審査) … 2～3P
- * 築城基地への直接要望. (議案議決結果) …… 4P
- * 町政を問う・一般質問 …………… 5P～11P
- * がんばっちょーよ! …………… 12P

1月11日豊津

小笠原神社 (どんど焼き)

早や3年！

決算歳入総額	109億1939万0474円
決算歳出総額	101億4974万3955円

決算認定

決算特別委員会を設置して、11月16日、19日、20日の3日間審査を行い、すべてを原案通り認定しました。

決算額を前年度と比較すると、歳入が12・7%ポイントの減、歳出が15・1%ポイントの減。

財政状況は、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は92・5%で、前年度より7・8ポイント低下。数値上は合併による節減効果と財政構造の硬直化がやや改善されています。

火葬場やすらぎ苑増設工事 約9000万円

敷地拡張のための造成・火葬炉の増設事業設計委託料

小中学校の 耐震補強工事すすむ

安心安全な学校づくり事業
耐震診断調査・工事費

…約1.4億円

(諫山小・祓郷小・犀川小・豊津中学校)



耐震補強工事（豊津中学校）

児童医療費助成制度の事業開始

小学校卒業まで医療費の助成の対象者を拡大する。

米軍駐留再編交付金を積み立て医療費無料化の財源とする。

積立金へと2723万9千円



伊良原ダムB代替地

伊良原ダム生活再建事業すすむ

伊良原地域の生活再建事業として、20年度は蛇淵キャンプ場…整備に約1億円



伊良原写真集 こもりく (隠国の記憶)

平成 20 年度不納欠損額 (円)

税 目	不納欠損額
町民税 (個人)	27,659,056
町民税 (法人)	1,549,780
固定資産税	74,163,529
軽自動車税	6,649,650
国保税 (一般)	110,820,498
国保税 (退職)	1,314,565
介護保険料	10,801,674
簡易水道料	5,151,010
農業排水使用料	1,315,850

合併して

(平成20年度決算審査)

平成20年度の不納欠損額は
2億3942万5612円

滞納状況は約11億3831万円

うち収入額は約1億2526万円

滞納残額は約8億2161万円

徴収努力をすべきことや、回収努力はいかにしたのかなど質しました。

進むインフラ整備

簡易水道事業統合事業

約 10.6 億円

豊津浄水場より犀川・本庄、山鹿地区への、配水のための建設改良費2億円余り。

勝山地域の配水事業として、中央地区配水管敷設工事1工区から10工区工事費、約5億円の工事実施。



配水管敷設工事

公共下水道事業

約1億円

豊津浄化センターの改良。排水を今川へ放流することで、新荒谷池の水質改善をはかる。

あらたにスタート!

後期高齢者医療制度 約 2.5 億円

加入者数 3,396 人

(平成21年3月末現在)

加入者の保険料の収入 1億7645万5110円

(1人当たりの保険料51,960円)

基金の主なもの

基金総額 56 億 5079 万円のうち主なものをお知らせします。

財政調整基金	11 億 3626 万円
公共施設整備基金	8 億 366 万円
ふるさと創生基金	2 億 7726 万円
伊良原ダム周辺地域振興基金	14 億 3702 万円
合併地域振興基金	5 億 2640 万円



進む東九州自動車道 (公共施設整備)

築城基地への直接要望・決議文提出（12月9日）

たび重なるF15戦闘機の事故に対し、みやこ町議会としては、住民の安全を図るために議会決議をしました。それを受け、基地対策特別委員会は築城基地に対し、要望行動を行いました。

当日は丸茂基地司令に決議文を手渡し、下記の申し入れをしました。

1. 早急に事故原因を究明し、その結果を速やかに公表すること。
2. 再発防止策の徹底と安全体制の確立に向けた具体的な内容を公表すること。
3. 原因真相が解明されるまで、いっさいのF15戦闘機の飛行を中止すること。
4. 事故報告等については、町執行部だけでなく議会に対しても直接行うこと。



みやこ町議会 会議結果

平成21年 第5回定例会		議案名	議決結果
議案名	議決結果	日米核密約の真相究明を求める意見書	原案否決 (賛成7 反対10)
人権擁護委員の推薦 塚田 信博 氏 (豊津有久)	原案適任 (賛成17 反対0)	築城基地所属F15戦闘機の尾翼の一部落下事故に関する決議	原案可決 (賛成17 反対0)
みやこ町税条例の一部改正 (寄附金税額控除・身障者等軽自動車税減免に関して)	原案可決 (賛成17 反対0)	天皇陛下御即位二十年奉祝の賀詞決議	原案可決
福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更	原案可決 (賛成17 反対0)	平成20年度みやこ町一般会計歳入歳出決算の認定	原案認定 (賛成13 反対4)
福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少	原案可決 (賛成17 反対0)	平成20年度みやこ町国民健康保険事業特別会計ほか10会計歳入歳出決算の認定	原案認定
平成21年 第4回臨時会			
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更	原案可決 (賛成17 反対0)	みやこ町職員の給与に関する条例等の一部改正 (職員及び議員の賞与大幅削減)	原案可決 (賛成13 反対4)
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少	原案可決 (賛成17 反対0)	備品購入契約の締結 (航空機騒音観測装置)	原案可決 (賛成17 反対0)
平成22年 第1回臨時会			
工事委託協定の締結 (みやこ町公共下水道豊津浄化センターの建設工事委託に関する基本協定)	原案可決 (賛成17 反対0)	工事請負契約の締結 (新荒谷池水質改善工事 1工区)	原案可決 (賛成16 反対0)
工事請負契約の締結の一部変更 (みやこ町宮葬斎場やすらぎ苑火葬場棟増設工事)	原案可決 (賛成15 反対2)	備品購入契約の締結 (小・中学校校務用パソコン整備に係る情報機器備品購入)	原案可決 (賛成16 反対0)
平成21年度みやこ町一般会計補正予算 (第3号)	原案可決 (賛成17 反対0)	光吉さわ子議員に全国町村議会議長会 創立 60 周年記念表彰 光吉さわ子議員 (81歳) が町議会議員として30年以上在職した功勞により全国町村議会議長会より表彰を受けました。おめでとうございます。	
平成21年度みやこ町公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決 (賛成17 反対0)		
みやこ町活性化センターこだま荘の指定管理者の指定	原案可決 (賛成17 反対0)		
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	原案可決 (賛成17 反対0)		



町政を問う!!

一般質問

町民の暮らしを守れ



直 義 議員
野 義 議員

保育所の安全確保と、廃止計画の中止を

Q 人員配置など安全確保で問題はないか。

A 町立保育所は6園(287人)に正職員19名、嘱託職員(調理員含む)8名、常勤の臨時職員等20名、パート(代替保育士など)31名の計78名。

責任は所長にある。主任保育士も配置しており、総合的な責任は正職員にある。

定期的に福岡県田川保健福祉

環境事務所の指導監査等があり、適正で安全も十分確保できていると判断している。

Q 大半が臨時やパートという状況で、安全運営にどう取り組むのか。過去の事故から、どう改善したか。

A 事故が発生した場合、早急に連絡をとり、病院まで保育士が同行するという内規を定めている。

Q 保育所の廃止は子育て世代の親たちに一層の困難を強いること

になる。中止を求める。

A 節丸保育所は22年度まで存続する。諫山保育所は22年度中に廃止するかどうかを決める。また、22年度中に町内の保育所のあり方を検討する。



小学生までの世帯が入れる岩熊団地と隣接する保育所、小学校

Q 子育て世代の家計状況を、どのように見ているか。

A 町長：家庭のいろんな事情もあるが、町としては町としての事情もある。

A 教育長：月々、2名程度の就学援助の申し出がある。その都度、対応している。

Q 所得格差で子育て世代の家計に厳しい実態がある。いまある保育所の存続は子育て支援策として重要だ。

長期的な町の財政運営

Q 合併から4年、今後の財政規模をどのように見るのか。

A 一般会計の規模はおおむね102億円程度。全体的には落ち着きを見た。

Q 今後の大規模事業はどのようなものか。

A 老朽した町営住宅の建替え。

Q 簡易水道事業や公共下水道事業などの収益改善が必要。今後の

財政運営上の問題点をどのように考えているか。

A 公共施設の膨らむ維持管理費。一方で今後町税や地方交付金が減少する。職員数の削減や施設の統廃合で予算の縮減が必要だ。

失業者や生活困窮者へ年越し支援を

Q 失業者や生活困窮者はどういう実態にあるのか。

A 詳しい調査は行っていない。生活保護の主な申請理由は、高齢者では病気、64歳以下では病気、失業があることから、少なからず不景気の影響を受けていると考えている。

Q 失業の長期化で厳しい生活にある人がいる。厳冬を迎えるにあたり緊急の年越し支援策や緊急雇用、相談窓口の設置が必要だ。

A 年末年始の休日中でも関係機関への連携がとれるよう調整している。町独自の取り組みは考えていない。

一般質問

地場産業の開発



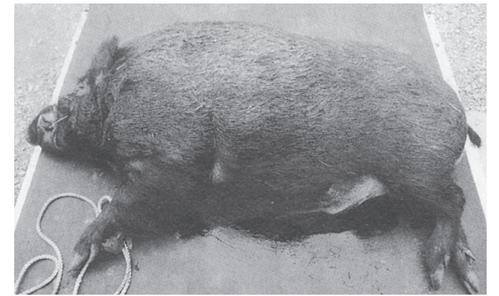
馬 勝 員
中 議 員
田

柚子を生かした商品のブランド化の推進

Q 町づくり、地域の振興のためには、何が必要かといった観点に立って事業を推進すべきことは当然のことである。

地道であっても、産業を育て、住民の所得の向上を図ることが、未来に向けた、あるべき施策ではないかと考える。

柚子こしょう、柚子ポン酢つくりを地域住民に奨励し、地場産業の開発に取り組んではどうか。



捕獲されたイノシシ

力等の生息数が増加し、農林業に係る被害は莫大な額になっている。

A 現在柚子は、犀川、勝山には約35000㎡が栽培されているが、残念なことにはほとんど収穫されずに放置されている現状ではないかと思う。

町としては、専門職というか指導者を確保しながら、山村振興としていろんな形で新しい産品を発掘し、ブランド化に向けて取り組んでいきたい。

野生鳥獣による農林業に係る被害

Q 近年、野生鳥獣イノシシ、シ

カ等の生息数が増加し、農林業に係る被害は莫大な額になっている。

Q 被害を少なくするには野生鳥獣の侵入防止対策をすること以外に方法はないと考えるが、被害防止対策費用は。

A 電気柵、シカネット対策費用として過去3年間の合計で約217万円。これは補助事業でやってきた。

Q 捕獲方法、駆除期間、報奨金、猟友会員、年間捕獲頭数は。

A 鉄砲、箱わな39基。駆除期間は、4月15日から10月31日。狩猟期間は11月15日から3月15日。報奨金は年間70万円。猟友会員18名。過去3年間の平均捕獲数は300頭程度。

解体施設の建設

Q 捕獲されたイノシシ、シカ等を有効活用するため解体施設を新設し、食肉用として商品化する計画だが、総事業費は。

A 3500万円を予定している。これは国の地域活性化経済危機対策臨時交付金を充てる。

Q 施設の処理能力は、年間処理目標は。

A 処理能力は240頭、年間目標はイノシシ100頭、シカ50頭を予定している。

Q 食肉解体、衛生管理、加工処理、商品化、販売ルートは誰がどの様にするのか。

A 猟友会を主体に相談しているところ。

商品化については、鳥獣害防止対策協議会を設置し関係団体、住民代表の方にも入って頂き、販売ルートは直売所、JA福岡みやこ等を考えている。



建設中の解体施設（犀川支所横）

F15の飛行訓練中止を強く求めること



熊谷みえ子
議員

Q 11月25日、北海道沖で空自千歳基地の戦闘機のエンジンの一部が落下する事故があった。「200時間ごとの定期点検や飛行直前の点検」など対策がとられていたはずなのに、29日の航空祭での事故である。一歩間違えば大惨事であった。

保されない以上、地元としては、飛行訓練の再開に同意しない旨を、築城基地並びに九州防衛局に強く要請した。

去年は築城基地の戦闘機が山口県萩市沖で墜落した。今年12月4日には小松基地でのF15の胴体着陸、8日は長崎県で海自ヘリの不時着など、事故は重なっている。

A 真の原因究明と徹底的な再発防止体制が整い、完全に安全が確保



PAC3関連通信施設の改修が進む(豊津砦見)

パトリオット3の配備中止を

Q 危険性はますます高くなる。自治体としても配備反対の声をあげよ。

A 発射台の形式が変わるのみとの説明であった。納得できないとして交付金の増額を要求した。

自治体の生活支援策を

Q 失業率も有効求人倍率も史上最悪の水準。有効求人倍率は、行橋管内10月で0・30と福岡地域と比較しても、7割近く低い状況。厚生労働省の緊急措置事業「離職によって住居を喪失またはそのおそれのあるかたへ」通達の徹底と、雇用対策と生活支援のための窓口を設置、拡充ができないか。年末・年始での対応は。

A 社会福祉協議会で総合支援資金は1件確認されている。

年末年始の対応は役場に連絡が入った場合、介護福祉課、関係機関に連絡対応する。

社会保障の充実で安心して暮らせる老後社会の実現を

Q 介護保険制度は、要介護認定を受けなければならぬ。平成19年度で要支援1が265人。要支援2が120人。認定者数1001人中38%を占める。改定の影響を把握しているか。軽度の認定となり必要なサービスを受けられない事のないようできないか。

家族の状況など配慮がされず生活に支障をきたしている。在宅でも安心なようにサービスを。希望するかどうかの意思確認をする。

ホームヘルプサービス、配食サービス、生活支援事業の対象者の拡充など対策を求める。

Q 高齢者生活状況確認事業は80歳以上の1人暮らし高齢者のみの世帯などを対象に、安否確認を行なうが、実績は平成20年で4人と大変少ない。要件の緩和で対象者を広げること。

A 年齢80歳以上についての検討はしたい。高齢者の見守りへの取り組み状況は、駐在員会議、民生委員会、老人クラブでの、福祉ネットワークづくりが始まっている。



行橋公共職業安定所 (ハローワーク行橋)

一般質問

財政難の中
どうする福祉行政



武田 光雄 議員

年金問題をどう取り組む

Q 年金が月に4万円以下のお年寄りが多くおり、生活に困窮している。町のみの問題ではないと思うが、この現状をどう考え、どのように取り組むのか。

A 年金金額の増額については国の所管になるので、町としては何ともする事が出来ない。

町の支援方法としては医療サービス、福祉サービス、その他関係団体の支援で支えて行きたい。生活保護という方法もあるが、厳しい審査があり、自分の家や土

地財産があれば支給は難しい。このようなお年寄りの支援には、町として今後は国には訴えて行きたい。

Q 大手のバス路線が廃止になったあと、近郊の交通会社等が替わって運行しているが、障害者割引は利用できない。

A 町を走っているバスの会社が1つであれば対応できると思うが、地域により複数の会社が入っており、しかもその会社自体がこ

もにも聞いたがその後の検討結果は。前のにも聞いたがその後の検討結果は。



介護施設

の制度の割引の件について取り扱いはしていない。大変難しいが、今後の検討課題として。

Q 在宅介護では、家庭への補助金制度はない。この現状をどう考え、どのように取り組むのか。

A 在宅でのサービスを利用する方は、ケアマネジャーと打ち合わせ、いろいろな介護サービスを受けている。その他にも在宅介護をされている家庭については、身体的、精神

その他にも在宅介護をされている家庭については、身体的、精神的負担を軽減する事業がある。いろいろな制限はあるが、介護福祉課に尋ねていただきたい。

的経済的負担を軽減する事業がある。いろいろな制限はあるが、介護福祉課に尋ねていただきたい。今後、1町村では無理があるため、在宅介護を初めとして介護福祉制度の更なる充実のために、国、県に支援の枠の拡大を要望する。

農業施策の充実を

Q 基盤整備された地域の農道に傷みが出始めているが農道整備はどのように行なっていくのか。また、農道を生活道路として利用している箇所は町道認定を出来ないか。

A 農道として整備した以上、目的がある。地元負担が伴った事業なので、地権者の権限が伴い勝手には扱えない。

町道認定については、認定要件があり難しいが、その様な農道は農業振興という意味でも、積荷を痛めず円滑な作業が出来るように、一定の舗装が必要であろうと思っている。

Q みやこ町の農業を真の基幹産

業にするために責任部署の設立を。
A 町内には3箇所の直売所、その他にJAによる共同出荷、市場への個人出荷による販売等がある。

基幹産業としての位置づけはされているが、まだまだ現段階では農家の方に十分な効果が出せていないのが現状だと思う。

専門部署は設けていないが、今後JA等の外部団体と連携し、町の隠れた農産物の発掘及び販売促進に取り組み、強化していく事が大事だと考えている。



広大な農地 (勝山上久保)

功労者表彰を



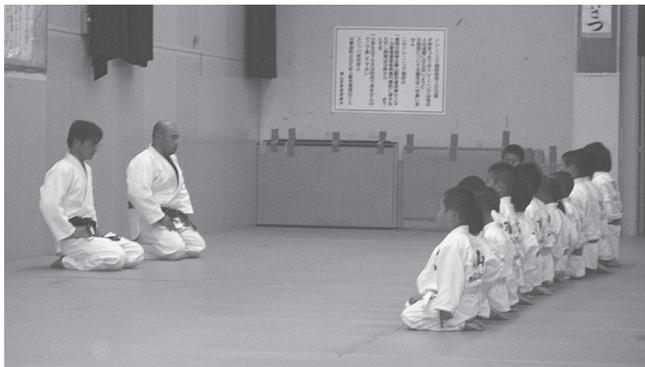
浦山 公明
議員

Q 地域で大小隠れた美化運動を慣行的に活動しておられるボランティア団体、スポーツ関係指導者等に功労表彰はできないか。

A 表彰は紙一枚で軽いですが、託された状文には、美化から子育て支援と町の活性に意義深い。初代町長として、初めての感謝状を贈呈できないか。

A 善行、功労表彰規定があるが、具体的な基準規則を設けておらず、見方によっては住民の不公平を招き得る。

9 みやこ町議会だより 第17号
苦慮する部分が多いので、均等に町の表彰、感謝状を出せるよう、時間はかかるが、早急にとり



柔道の指導（勝山体育館）

かかりたい。一定の詰めは、任期中にはやりたいと思っている。

人事異動、配置換えについて

Q 引継ぎは、机上での紙面、口頭の事務引継ぎのみではなく、また、行動をもって、身体で覚え受け継ぐ事業、事務があると思う。イベントを通し、村おこし等で活性化に携わる担当職員の異動配置転換を考慮すべき。活性化を目的にしているグループ等には今以上の励み、熱意が生れるのではないか。

A 保育士また特別な専門分野の場合を除き、一般職で採用しているので、住民から見れば、全て網羅していると受けとめられている。職場全体の全ての範囲を知る職員の育成が今の方針である。

Q 活動するグループは担当職員を頼りに指導を仰ぎ、行動をともしながら活性化に向け進んでいる。配置換えに対して配慮を。

A 部門を有効發揮できるように配慮を考え活用しルールに伴い配置換えを行う。

町づくりについて

Q 町長は後進に道を譲ると言われた。

総合計画書の中で、統廃合、削減、検討課題が数多く残っている。町長交代を目前にして、なお遠のくのではないか。今からが、町の活性化の選択の道。政権交代で数多くの施策が変わる。

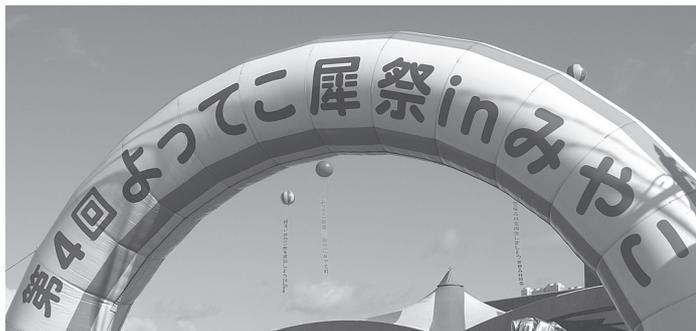
それゆえに、後進の方の事務引き継ぎは、できる範囲の考慮をしていただきたい。

A 総合計画に基づいてできる範囲から実施。また、地域活性化経済危機対策臨時交付金、基地交付金の活用で前倒し事業を行った。

設備等、まだ均衡性がとれない部分がある。合併前に見えなかった分、計画的に行う部分は実行した。

任務として財政基盤の確立に努めた。

後進には後進の考えがあり、意思を尊重し、考えが求められれば惜しむことなく協力させて頂く。



今回も賑わった第4回産業祭

一般質問

情報公開の実態は町の民主度、成熟度のバロメーターだ



原田さやか 議員

Q 11月26日、西日本新聞に市民団体が県内全自治体に対して情報公開度や使いやすさについてのアンケートを実施した結果を公表している。みやこ町の公開度は40点満点で16点。県内全66市町村中、44番目。情報公開の実態は、自治体の民主度、成熟度を図るひとつのバロメーターだと思う。みやこ町の公開度は余り悪くないと思っていたのでこの結果は以外だ。町長はこの記事を見てどのような感想を持たれたか。

A 評価項目、配点はオンラインの主体的な観念によるもの。結

果についてはそういう内容であっても、謙虚に受け取りたいと思っている。対応についても考えていきたい。

Q この記事で町の実態を客観的に知ることができると思う。住民は誇りを持てる町であってほしいという願いを持っている。情報公開度を上げること、すなわち住民サービスの向上につながる。改善できる点は、即改善していただきたい。

A できるだけ住民情報は公開する予定にしている。

公文書管理の重要性についての認識を問う

Q 休館中の施設に文書が余りにも乱雑に置かれていた実態を目にした。文書管理の重要性についての認識が余りにも希薄ではないかという感想を持った。夏以降、整理にとりかかったと聞いている。公文書管理の重要性についてのどのよう認識をしているか。整理の進捗状況を尋ねる。

A みやこ町文書管理規程に基づき、本庁・支所ごとに整理・保管を行っている。旧勝山町の文書は、先月、文書の選別を全て終了。保

管年度ごとに管理目録を作成し、新町の文書と同様に保管・管理を行なっている。

合併前の書類については、それぞれ書庫の整理等が不十分で、その当時整理のつかなかった部分もあるが、新たな取り組みをやっている。

Q 文書管理規定に永久保存はできない。廃棄の決定は慎重にしていたきたい。貴重な資料に関しては歴史民俗博物館を活用していただきたい。

A 歴史民俗博物館も整理が大変な状況。一定の利用ができる部分については持ち込みたいと思っ

県内自治体の情報公開度ランキング(40点満点で採点)

40点	福岡県、北九州市
34点	福岡市
31点	春日市
30点	広川町、川崎町
29点	柳川市、八女市、筑紫野市、福津市、水巻町
27点	筑後市、小都市、太宰府市、那珂川町、
25点	久留米市、中間市、大木町、星野町、東峰村
24点	大牟田市、大川市、宗像市、古賀市、岡垣町
23点	宮若市
22点	飯塚市、前原市、朝倉市、篠栗町、香春町、築上町
21点	芦屋町
20点	筑前町、黒木町
19点	直方市、
18点	大野城市、志免町、志摩町、立花町
17点	田川市、みやま市、須恵町、吉富町
16点	みやこ町
15点	行橋市、うきは市、嘉麻市、粕屋町、小竹町、太刀洗町
13点	久山町、二丈町、福知町、苅田町
12点	新宮町
10点	宇美町、桂川町、矢部村、上毛町
9点	鞍手町
5点	豊前市、糸田町
0点	添田町
失格	遠賀町、赤村
回答なし	大任町

(11月26日西日本新聞)

Q 平成20年度の決算書によると保育料、住宅使用料、住宅駐車場使用料、合併浄化槽使用料、水道使用料、集落排水使用料、公共下水道使用料の滞納額合計が1億6,951万3,400円。この滞納は町財政を大きく圧迫している。徴収努力をどのようにされているのか。実態把握ができているのかを尋ねる。

A 滞納が年々増加傾向にあることとは否めない事実。今の日本経済の低迷、雇用の解除や低賃金化等が大きな原因となっているようだ。住宅使用料は7月から9月にかけて臨戸徴収を実施した。納付意識の希薄化が見受けられる。充分に実態を把握して徴収強化を図ってまいりたい。水道事業、農業集落排水事業及び公共下水道事業の3特別会計については、以上の徴収率の確保のため、督促・催告事務及び滞納処分や訪問徴収などをやっている。

伊良原ダム事業の 現状と今後



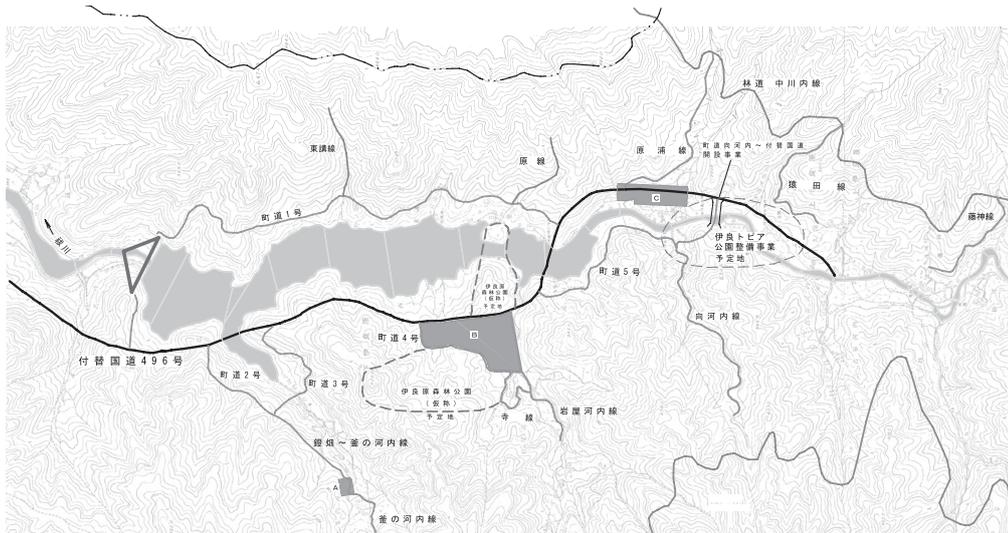
光吉 さわ子
議員

Q この計画が持ち上がって50年。伊良原地区の方々の想いを考えるとき「伊良原ダム水源地域の自然と文化を守る会」発行の写真集を拝見した。この冒頭に「しも隠国再生への誓いがのべられている。「隠国とは、川を挟んで両側から山々が迫る奥まった地域を言っ。古来そこには神がこもるとされてきた。人々は自然に対し謙虚に暮らしてきた。神仏を崇め、お年寄りをいたわり、子どもに地域の未来を託す。そんな当り前の暮らしが千年以上も続いてきた。私たちは現実を受け入れ、伊良原に残る者もいれば去る者もいる。だ

が、コンクリートの巨大構造物がそびえようとも、心の中にある隠国の情景は色あせることはない。必ず伊良原を再生させると誓った」とある。
今、私たちは日本人が忘れかけているふるさとへの思いと自然への畏敬の念を思わざるを得ない。合併してダム対策委員として現地を訪れ、伊良原地区の犀川の森林の美しさと深さに触れ、今なぜダム事業かと考えている。
総事業費678億円。国道496号線の総延長と終点はどこか。生活道路の町道1号〜5号は。

A 国道の総延長は約7km。進捗率は15・8%で1・1km出来ている。終点は伊良原中学校から約600m上流の古谷河内橋付近。平成29年全線供用へ事業を進めている。

Q 地元からの要望は。
A 県に対しての要望は、付替え国道496号、付替え町道2号、町道岩屋河内線の早期完成などで、予算を集中して工事を行っている状況とのこと。



伊良原ダム水源地域整備計画概要図

Q ダム水源地域振興事業の遂行は。
A 平成20年度までの進捗率は10・82%、5事業終了で3億6000万円。
Q 水源地をもつみやこ町は、水源地域対策特別措置法12条の適用を急ぐ必要がある。政権が変わり、国はダムの本体工事に入っているかどうかを目安にし、伊良原ダムも対象に上がった。この現状をふまえて今後の見直しはどうか。
A 完成時期が本当に平成30年になるのか、

今のところ、私にもわからない。地元としては、ダムが出来ないもしくは延期された場合、法12条を使わなければ周辺整備は出来ない。これは当然の権利として、いかなることがあっても、国、県に要望していくことは全く変わらない。ダムが出来ようが出来まいが、地元が約束したことは絶対守っていただく。守らせるといって姿勢でいくということははっきり申し上げていいと思う。



進む伊良原ダム付替え工事



少年団
犀川サッカースポーツ

がんばっちょーよ!!

私達は、創部23年を迎える小学校一年生から六年生までのサッカー少年団です。



今年も元日に小学校、中学校、高校、OB、保護者を含め、200名ほどで、犀川生立神社に参拝の後、恒例の初蹴りを行いました。雪が降っていたので、グラウンドの状況は非常に悪かったのですが、全員で元気にボールを追っていました。

創部の頃は団員も多くいてJリーグも2名輩出しています。少子化のために現在25名程度の団員で頑張っています。

今後一人でもサッカーをやりたいことがある限り指導を行っていきたくと思っています。

犀川の本庄グラウンドで週3回練習をやっています。

厳しい入団条件はありませんので、入団を希望される方、興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

節度と礼儀はバッチリ習得出来ると思います。

犀川中学校サッカー部が3月に佐賀県で行われる九州大会に県代表として出場いたします。応援よろしくお願いします。

連絡先

中山圭一郎
☎ 4211001

木下 祐史
☎ 4222006



議会広報特別委員会

委員長	武田 光雄
副委員長	中田 勝馬
委員	中田 巳天
委員	村中 義直
委員	野村 義直
委員	熊谷 みえ子
委員	原田 和美
発行責任者	肥喜里 和隆

発行日：平成22年2月1日
発行：みやこ町議会

〒824-0892
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地
TEL0930-32-2511 (内線 301・302)
FAX0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会
印刷：(株)文信堂印刷所

議会傍聴においで下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。

3月の定例会は、日程が決まり次第、ホームページ・防災無線等でお知らせします。

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

今朝、軽トラで出かけようと車に行くと、フロントガラスが凍り付いていました。見ると、荷台にも氷が張っていました。まだまだ厳しい寒さは続きますが、くれぐれも身体に気をつけて、楽しい年になる様にしたいものです。

さて、衆議院選挙を終えて、国政は大きく動こうとしています。国の政治は町政に大きく影響を与え、確実に皆さんの生活に関係してきます。今年も参議院選挙の年でもあります。貴重な一票を有効に生かし、安心して暮らせるみやこ町にしたものです。

(中村)